学校だより　**逢う地**

お・・思いやりのある学校
う・・美しさに満ちた学校
ち・・力を伸ばす学校

希望と目標を持ち、自立の基礎を身につけた生徒の育成

唐津市立相知中学校
R元. 10.　4.　第 14 号　文責：江川俊之

三校合同授業研究会

9 月 25 日（水）町内の小中学校合同の授業研究会を本校で実施しました。1・2年生の４クラスで授業を公開し、相知小・伊岐佐小の先生方にも参観していただきました。後半は佐賀県教育センター指導主事伊東一義先生から「特別支援教育に係る最近の動向と児童生徒への関わり方について」というテーマで話をしていただきました。応用行動分析を基にした子どもへの関わり方を学ぶことができました。そのすべてはとても紹介できませんが、印象に残った一部を紹介させていただきます。

普段の子どもの行動を３つに分類します。①好ましい増やしたい行動＝○　②好ましくない減らしたい行動＝△　③許しがたいすぐ止めるべき行動＝×です。○はほめる。△は無視とほめるの組み合わせ、×は指示と制限を与えることで対応していきます。このとき特に△と×は人により判断が分かれることもあり、グレーゾーンもあることを意識します。その中からほぼ毎日見られて観察可能な１つか２つ指導の重点（ターゲット行動）を絞ります。

ほめるポイントは①近くに寄り②目を見て③声を明るく④表情を豊かに⑤動作を含めて、まめに、すぐに、さりげなく。効果的な指示の出し方は CCQ、CALM（穏やかに）CLOSE（近づいて）QUIET（静かに）また、一度指示を出して無視を開始したにもかかわらず、どうにもならないときがあります。そんなときはブロークンレコードテクニックという方法があります。これは、子どもが好ましくない行動をしたとき、親が「壊れたレコードプレーヤー」のように同じ指示を繰り返す方法です。CCQ で、指示を同じ言葉で正確に繰り返し伝えます。**決して感情的にならず、**表情を変えず、淡々と指示を出します。そんな毅然で冷静に指示を出す親の態度に子どもは「これはいくら逆らっても無理そうだ・・・」と思い、その好ましくない行動を止めます。子どもが直ちに止めれば、そこですぐにほめます。

怒りのピークは６秒間です。感情をコントロールするにはこの６秒間を持ちこたえることが必要です。数を数えたり、深呼吸をしたり、「何とかなるさ」と自分に言い聞かせたり…。

「豊かな人生」のために必要なことは①自己の特性を理解し、助けを求めること。②不完全な自分を好きになること。③カリスマティックアダルト（すべてを受け入れ、課題を指摘してくれる人）との出会いだと最後に締めくくられました。 理論的に学ぶと冷静で正しい対応が身につきます。伊東先生は今年２月にも相知町で講演をしていただきました。また 11 月 30 日（土）には三度相知交流文化センターで講演をしていただきます。裏面に案内を掲載しています。是非聴きにきてください。

県立高校入試制度の改定

今年度末の入試から従来の特色選抜 A 方式と一般選抜が統合され、特色選抜は従来の B 方式（スポーツ推進指定校・文化芸術推進指定校）のみが残り、**特別選抜**という名称に変わります。また、それぞれ学校希望による募集枠が設けられました。**一般選抜**では１回の試験を***選考Ⅰ***（調査書・面接重視、募集定員の 10～30%）と***選考Ⅱ***（学力検査結果重視、募集定員の残り）という２つの異なる評価基準で合格者を決定します。不合格体験を減らし、多様な観点からの選抜を実施するためです。また、インフルエンザ等の急病ややむを得ない理由で一般選抜を受検できなかった学校においては**追検査**が実施されます。その結果入試の期日が早まりました。特別選抜入試：２月６日（木）、一般選抜入試：３月４日（水）～５日（木）、追検査３月 10 日（火）です。卒業式は３月７日（土）を予定しています。

受検する高校によって評価基準が異なりますので、詳細は説明会や三者面談にてご確認ください。